

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6152	血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)(選択的動脈化学塞栓術)	24人	2.2日	13.8日	12.5%	80.6歳	-
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	19人	2.2日	16.9日	15.8%	73.4歳	-
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(早期悪性腫瘍粘膜下層)	16人	1.7日	11.4日	6.3%	71.9歳	-

#### 《解説》

当科で最も手術が多いのは血管塞栓術で、これは主に肝細胞癌に対して行われる手術です。

次いで多いのは内視鏡的胆道ステント留置術です。腫瘍や結石性胆のう炎などによる胆道閉塞に対する手術です。

これら疾患の手術は外科への転科が多く、上記内科の集計には反映されておりませんが、年間で100例ほど実施しております。

3番目に多いのは、内視鏡的粘膜切除術となっております。胃・十二指腸潰瘍の上部内視鏡以外にも、結腸など下部内視鏡も行っており、ポリープや早期癌の切除術など数多く行っております。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K597-2	ペースメーカー交換術	5人	8.2日	11.8日	20.0%	85.2歳	-
							-
							-

#### 《解説》

当科の手術例は上記のようになっております。

検査としては、運動負荷心電図(エルゴメーター等)、長時間心電図(ホルター心電図)、心臓超音波検査(心エコー)、心臓MRI等の非侵襲的検査を外来にて行い、各種心疾患の診断と治療方針の決定を行っています。

冠状動脈造影やカテーテル治療手術などの、侵襲を伴う検査や治療が必要な患者さんには、速やかに他病院との連携を図っています。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■小児科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K9131	新生児仮死蘇生術(仮死第1度)	13人	0日	57.8日	0.0%	.0歳	-
K2762	網膜光凝固術(その他特殊)	6人	43.3日	108.2日	0.0%	.0歳	-
K9132	新生児仮死蘇生術(仮死第2度)	4人	0日	72.0日	25.0%	.0歳	-

#### 《解説》

当院では、総合周産期母子医療センターを有しており、そのため未熟児の新生児も多く、当科での手術で最も多いのは、新生児仮死に対する処置となっています。次いで、網膜光凝固術の順となっております。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	51人	1.0日	7.4日	0.0%	56.4歳	-
K7181	虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	30人	0.1日	5.1日	0.0%	32.9歳	-
K4763	乳腺悪性腫瘍手術(乳房切除術(腋窩部郭清を伴わない))	24人	2.5日	18.3日	0.0%	63.2歳	-

#### 《解説》

当院ではガイドラインの推奨に従って、胆石症や急性胆嚢炎ではできるだけ早期に治療を開始するように心掛けており、虫垂炎や胆嚢炎などの近隣の施設からの紹介も増えております。乳癌では乳房を温存したり形成外科との連携により乳房再建術も行っております。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術(肩甲骨、上腕、大腿)	76人	7.1日	20.4日	76.3%	83.5歳	-
K0811	人工骨頭挿入術(股)	38人	6.2日	21.4日	84.2%	83.3歳	-
K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕、下腿)	36人	0.9日	3.4日	0.0%	58.6歳	-

#### 《解説》

当科では、骨折に対する骨折観血的手術や人工骨頭挿入術が上位に来ています。

骨内異物除去術とは、手術時に骨の固定のために埋め込んでいたプレートなどを取り除く手術になります。

全体的に転院率が高くなっておりませんが、これは当院が急性期病院のため、症状が安定した患者さんはリハビリのある回復期病院へ転院していただき、医療機能を分担し地域医療連携を積極的に図っているためです。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K861	子宮内膜搔爬術	11人	0.2日	1.0日	0.0%	44.4歳	-
K9091	流産手術(妊娠11週まで)	11人	0.2日	.7日	0.0%	36.9歳	-
K9062	子宮頸管縫縮術(シロッカー法)	5人	2.2日	15.2日	0.0%	34.6歳	-

#### 《解説》

当科は健康保険と自費併用の方が多く、DPC集計対象から外れている方が多いため、上記の結果となっております。

但し、当科で行っている全ての手術を集計すると、帝王切開術が257件と最も多く、平成27年度の分娩数603件のうち、42.6%を占めています。これは救急車等による緊急母体搬送を年間172件受けているため高い率になっております。

婦人科としては、主に良性疾患を対象とし年間50件の手術を行っています。主な術式としては、子宮頸部の前がん病変に対する子宮頸部円錐切除、内膜ポリープなどに対する子宮鏡下手術等です。

県内の多くの異常妊娠分娩を取り扱っており、佐賀県の総合周産期母子医療センターとして大きな責務を果たしていると考えております。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術(肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹)	23人	0.4日	8.1日	0.0%	55.0歳	-
K0052	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm以上4cm未満)	16人	0.3日	2.9日	0.0%	26.1歳	-
K0063	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径6cm以上)	10人	0.4日	5.9日	0.0%	52.5歳	-

#### 《解説》

当科では、四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術が23件と上位の症例数となっております。部位別では、躯幹、肩、大腿の順になっています。次いで、皮膚、皮下腫瘍摘出術となっておりますが、大きさや部位によって細分化されているため順位を下げておりますが、合計すると53件となり最も症例の多いものとなっております。入院期間は腫瘍の大きさや、露出部か露出部以外であるか、また合併症の有無によって異なります。その他の手術では、眼瞼下垂症手術は合計15件となっております。また、多汗症、腋臭症手術が保険適応となり、昨年度は9件施行しております。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K80364	膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用)	55人	1.5日	9.3日	1.8%	71.5歳	-
K7811	経尿道的尿路結石除去術(レーザー)	53人	1.3日	3.9日	0.0%	57.8歳	-
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	34人	0日	1.3日	0.0%	51.4歳	-

#### 《解説》

泌尿器科手術で最多は膀胱癌に対する内視鏡的手術です。比較的体への負担が少ない手術ですので、外来受診されてからできるだけお待たせせず手術計画を組むことを心がけています。

次に多い手術は尿路結石に対する手術です。「安全・確実」の観点から内視鏡手術と体外衝撃波手術のどちらかを選択しお勧めしています。

上記以外でも包茎・陰囊の小手術から、前立腺肥大症手術、先進的腹腔鏡手術、膀胱癌や前立腺癌に対する大規模手術まで多くの手術を行っています。

## 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで)

### ■皮膚科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0051	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2cm未満)	14人	0.1日	2.6日	0.0%	60.6歳	-
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	13人	0日	7.1日	0.0%	83.6歳	-
K0061	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3cm未満)	13人	0日	1.3日	0.0%	64.8歳	-

#### 《解説》

当科での入院手術は、主に皮膚腫瘍切除(皮膚良性腫瘍が対象)と皮膚悪性腫瘍切除術(皮膚悪性腫瘍が対象)を行っています。皮膚腫瘍の診断は、臨床所見だけでなく、非侵襲性のダーモスコピー検査(※)、病理組織検査を用いて行っています。事前の診察で皮膚良性腫瘍が疑われた場合でも、必ず摘出した腫瘍の病理組織検査を行い、良性・悪性の確認および診断を行い、患者さんにご説明しています。また、腫瘍摘出の前には、皮膚生検を行う事もあります。特に皮膚悪性腫瘍の場合は事前に皮膚生検を行う事で、組織型や悪性度を確認します。悪性度によって切除範囲が決まりますので、非常に重要な検査となります。

※ダーモスコピー検査:光線で皮膚を照射し、10~20倍の拡大像を観察する非侵襲性の診断機器です。脂漏性角化症や基底細胞癌の診断に非常に有用で、高い診断感度を得られます。